2022年9月29日

ウエルネスセンター

久保木　眞

**インフルエンザと新型コロナとの同時流行を想定した感染予防**

1. 今後の感染状況の予測

新型コロナ感染状況レポートの通り第7波は、8月第3週にピークを形成し緩やかに減少してきたが、減少から横ばいに転じている。検査陽性率が上昇していることから、新型コロナウイルスオミクロン対応ワクチンの接種が進むまで収束は難しいとみている。

1. 今後の感染対策について

感染経路は以下の３つあり、

①空中に浮遊するウイルスを含むエアロゾルを吸い込むこと（エアロゾル**感染**）、

②ウイルスを含む飛沫が口、鼻、目などの露出した粘膜に付着すること（飛沫**感染**）、

③ウイルスを含む飛沫を直接触ったか、ウイルスが付着したものの表面を触った手指で

露出した粘膜を触ること（接触**感染**）である。

ウイルスの体内への侵入後、感染が成立するか否かは、個体の感受性(自然免疫や獲得免疫(既感染/ワクチン接種))の状態に左右される。これまで学内で経験した感染者の感染ルートの分析から、感染ルートは①室内、車内、カラオケルーム、コールセンターでのアルバイトなど換気が不十分な閉鎖空間での感染、②飲食時等における近距離でのマスク無しでの飛沫感染である。

従って、感染防御に有効な手段は、

1. マスク(飛沫感染を防ぐ)
2. **常時換気により閉鎖空間を作らない**(ウイルスを吸い込まない環境を作る)
3. 手洗い(接触感染を防ぐ)となる。
4. **インフル・コロナ、同時流行に備えを**

**<インフルエンザワクチンについて>**

　インフルエンザワクチンの接種が10月から本格的に始まる。コロナ禍中の最近２シーズンは感染対策の徹底でインフルエンザは流行しなかったが、行動制限が緩和された今冬は、新型コロナウイルス感染症との同時流行も懸念される。「新型コロナワクチンとの同時接種も可能になった。特に重症化リスクの高い高齢者らは早めに接種を受けてほしい」と呼びかけられている。**インフルエンザと新型コロナの重感染は、動物実験で重症化**が報告されているので備えを万全にしたいところである。

　インフルエンザは通常、12月～翌年３月頃に流行する。国立感染症研究所によると、例年の患者数は推計1,000万人前後だが、新型コロナ流行後の2020～21年シーズンは１万4,000人、21～22年は3,000人に激減した。感染対策が奏功したとみられる。

　しかし、今季は流行が懸念されるのはなぜか。2つの理由が考えられる。(1)２年続けて流行がなかったため、子どもを中心に十分な免疫を持たない人が増えた(2)行動制限や水際対策の緩和で人と人の接触が増えたことである。

　実際、流行予測の目安となる南半球の豪州では、今年は９月中旬までに約22万人のインフルエンザ感染が報告され、昨年の598人から激増した。日本でも７月頃から感染者が出ており、長野市では９月、14人の集団感染が確認された。豪州ではインフルエンザと新型コロナが同時に広がったが、日本でも同じことが起こりうる可能性が高い。

**供給状況は?**

* 同時流行に備え、厚生労働省はインフルエンザワクチンの増産を企業に要請。今季は、過去最多の約7,000万回分が供給される見通しである。
* 他のワクチンは新型コロナワクチン接種から原則13日以上空けて打つ必要があるが、インフルエンザワクチンについては、同時に接種することも容認した。同時接種でも、有効性と安全性に問題はないとする海外の報告をふまえた。
* 同時接種については、どちらのワクチンを先に打ってもよく、一定の時間を空けるといった規定もない。同時接種の場合は別々の腕に打つのがベター(きまりはない)。

**不足の心配？**

* 今季から認められた同時接種はクリニックなどでの個別接種が中心になるとみられる。集団接種会場では手続きが煩雑になる恐れがあるためだ。ただ、クリニックにとっても初の試みなので「どれほど行われるか」との声も聞かれる。
* ワクチン供給量が過去最多でも、不足の心配もあるため早めの接種を
* 東京都や大阪府など、65歳以上の人らの接種を無償化する方針を示す自治体もあり、厚労省の有識者会議では「無償化や同時接種で需要が喚起される可能性がある」との見方がある。
* 昨季は約5,700万回分の供給に対し、９割が使用されており、希望しても打てなかった人もいました。
1. **ウエルネスセンターでのワクチン接種準備状況について**
2. **インフルエンザワクチン**

**同時流行に備え、昨年の3倍量のワクチンを確保しています。10月から接種開始予定です。**

1. **新型コロナオミクロン対応ワクチン**

**10月末にワクチンが供給されますので、11月から接種開始予定です。**

**詳細については、順次ご案内いたします。**